

令和6年度 第3回 大阪府東住吉総合高等学校 学校運営協議会議事録

日時：令和7年2月20日（木）14：00～15：30

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRY ルーム

出席委員

株式会社富士精機代表取締役	田村 孝	委員長	
大阪森之宮医療大学参事	雑賀 文彦	副委員長	
大阪市立摂陽中学校校長	垣花 正信	委員	
喜連西地域活動協議会会長	鳶谷 勉	委員	
東住吉総合高等学校陽親会理事	宮崎 日和	委員	
東住吉総合高等学校 PTA 会長	前田 かおり	委員	計6名

学校出席者

校長 教頭2人 事務長 首席2人 教諭2人(記録) 教務主任 生徒指導主事
進路指導主事 保健主事 総務主任 各年次主任3人 計16名

1. 開会

2.

3. 学校長挨拶

3. 協議

(1) 保護者からの意見書提出状況について

2月20日午前時点、意見書の提出なし

(2) 学校教育自己診断

「本校に入学してよかったと思う」という数値が下がっているのので、原因と対策を考えて、改善していく。進路指導、人権教育、教育相談の満足度は上がっている。応募前就職活動や外部講師を招いての講演、SC,SSW を大いに活用していることの成果と思われる。これからも生徒、保護者、学校、地域を巻き込んで一つのチームとなって学校を運営していきたい。

(3) 分掌・年次報告

教務部：開講科目の精査。系列の上限人数の設定。内規に通信教育などの規定を入れるなどの改定を検討。校務システムが変容した。

生徒指導部：懲戒件数、遅刻件数が少しずつ増加している傾向にある。減らせるよう努力していく。体育祭を6月に実施。競技内容の見直しをしたい。文化祭は今年度から飲食店を復活させた。

進路指導部：1年次から進路に向けた指導をしている。4年制大学への進学者が減少した。英数系列を選択した生徒は例年に比べ少なかったが、英数系列から4年制大学へ進学した生徒の割合は例年通り。就職者も例年の3分の2と減少したが手厚いサポートができた。

保健指導部：保健室来室証を発行することを決め、取り組んだ。保健室に行く前に学年室で「爪を切りたい」、「ティッシュが欲しい」等の申し出に対応することで保健室の負担が減少し、必要な生徒の指導ができています。また、担任が生徒の状況を把握し易くなるというメリットも出てきた。感染症も今年度は近年に比べ減少している。

総務部：地域ボランティアに参加した生徒数は年々増加している。PTA 社会見学も実施。制服が3月から15%の値上がり。芸術鑑賞はアカペラとブレイクダンスをお願いした。来年は万博があるため行わない予定。

3年次：学習習慣が整い、指導・指示を聞守ることができる生徒が多数。生徒に聞いた本校に入っ
てよかったと思うことは、普通科に比べて就職率が良いこと等である。

2年次：生徒の意欲をさらに上げることが課題。修学旅行を経験したが、さらに集団行動の大切さを
学ばせたいと感じた。

1年次：入学時から学力向上を図っている。生徒の取り組みに関してはまだまだ不十分な面があり、
これからの課題である。

(4) 令和6年度学校評価について

- ・わかる教科指導の工夫
- ・ICT 機器を有効活用
- ・年間遅刻件数
- ・部活動加入率
- ・英語技能検定受験者数
- ・学校教育自己診断「地域連携」
- ・教育相談対応
- ・教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動の推進
- ・経験の少ない教職員を育成する体制の構築

- 委員より
- ・部活動加入率が下がっていることに対しては、時代の移り変わりもあるかもしれない。
 - ・授業見学した時も思ったことだが、工夫をして授業をされている先生が多数いる印象である。昔とは違う。引き続き、工夫を重ねていてもらいたいと思う。
 - ・ほとんどの中学生が高校に入学するのが当たり前の時代。それを踏まえて高校もよりよい教育活動を考えていく必要がある。大変な状況のもと、よくがんばっていただいている。
 - ・どこの府立学校も苦しい状況だが、東総を希望する中学生が増えることを願う。

(5) 令和7年度学校経営計画

- ・めざす学校像 ～生徒一人一人の「今」と「これから」を応援します～
- ・中期的目標
- ・学力向上プロジェクトチーム (GPT)→授業充実チーム (JJT)
- ・管理システム部を増設
- ・生徒の安全安心を支える行内体制・教育活動の推進

4. その他

来年度は5月に第1回を開催予定。

5. 学校長挨拶

6. 閉会